

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期鋸南町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県安房郡鋸南町

3 地域再生計画の区域

千葉県安房郡鋸南町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、千葉県の南、房総半島の西南に位置し、東京都心から65km圏内で東京湾アクアラインを経由し車で約80分という地理的条件にある。

町の面積は45.17km²で、豊かで風光明媚な海岸線を有し、また海岸より山間部にかけては豊かな山系を有し、そのなかでも北部には標高329mの鋸山がある。中央部以東は狭い山間地帯であり、中央部以西は海岸に向かって平坦地となり、最西端に市街地が展開している。

本町の人口は、1960年の15,131人をピークに減少しており、6,993人（2020年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。さらに、住民基本台帳によると2026年1月には6,540人となっており、急速な人口減少が見られる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が4,166人と予測され、2020年比で約60%となる見込みである。

本町の年齢3区分別の人口推移を見ると、平成2年から令和2年にかけて、年少人口は1,890人から519人、生産年齢人口は7,307人から3,109人と減少傾向にあるのに対し、老年人口は2,498人から3,361人と増加傾向にあり、少子高齢化が進んでいる。なお、高齢化率は48.1%（2020年国勢調査結果）となっている。

本町の自然動態をみると、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続いており、令和6年において140人の自然減となっている。また、合計特殊出生率を見ても、令和6年には1.04と全国平均及び県平均値を下回っている。

本町の社会動態をみると、平成26年以降、一貫して転出者が転入者を上回る社会減となっており、令和6年には転入者（208人）が転出者（238人）を下回り、30人の社会減となっている。このような人口の減少の背景には、本町の基幹産業である第一次産業の衰退に伴う雇用機会の減少、高校卒業後の進学や就職による都市部への転出、より生活のしやすい近隣市への転出などによる社会減が原因と考えられる。

また、未婚率は35～39歳の男性が53.4%、35～39歳の女性は31.5%（2020年国勢調査結果）となっており、この年齢層の女性の未婚率は2010年からの10年間で約1.2倍に上昇し、晩婚化・非婚化が進行している。

今後も人口減少が進行すると、学校のクラス数の減少や地域組織の衰退、町税の減収によって道路や公共施設の整備など様々な行政サービスの提供が縮小するなどといったことが懸念される。

こうした課題に対応し、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現に取り組んでいくために「鋸南町地方創生総合戦略」を策定し、本計画期間中、次に掲げる4つの基本目標をもとに事業を展開する。

- ・基本目標1 稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する
- ・基本目標2 本町への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する

これらの取組を通じて、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図ることで出生率の改善を図り、自然増につなげていく。また、本町の都心へのアクセスの良さ、豊かな自然などの地理的優位性を活かして移住を促進し、安定した雇用の創出や新しい働き方や暮らし方に対応したまちづくりを通じて地域の活力や魅力を高め、社会減に歯止めをかける。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	認定新規就農者の新規認定数	0人/年	1人/年以上	基本目標1
	町内事業所数	352事業所	340事業所	
	観光入込客数	1,226,202人 /年	1,700,000人 /年以上	
イ	観光入込客数(再掲)	1,226,202人 /年	1,700,000人 /年以上	基本目標2
	移住体験住宅施設提供数	0施設	1施設以上	
	住宅取得奨励金交付数	14件/年	15件/年以上	
ウ	合計特殊出生率	1.04人	1.13人以上	基本目標3
	婚姻件数	7組	7組以上	
エ	鋸南町を住み良いと思う 住民の割合	62.3%	65%以上	基本目標4
	子どものふるさと教育の 実施回数	11回	16回以上	
	自主防災組織の設置率	76.6%	100%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2とおおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期鋸南町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する事業
- イ 本町への新しい人の流れをつくる事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する事業

② 事業の内容

ア 稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する事業

農林水産業や観光などの基幹産業を中心に、効率化や高付加価値化を図り、若い世代が安心して働ける環境を創出し、多様な働き方が実現できる社会を構築する事業。

【具体的な事業】

- ・多様な担い手等の育成、確保
- ・創業支援の充実
- ・農商工連携及び6次産業化の推進 等

イ 本町への新しい人の流れをつくる事業

都市住民や観光客に焦点を当てた観光・交流の促進を図り、本町の知名度を高め、空き家の活用等も踏まえたU・Iターンの促進を図る。また、ふるさと納税等の活用による関係人口の増加策を講じていく。さらに、自治体・大学・企業等との交流・連携を深化し、地位の魅力向上を図る事業。

【具体的な事業】

- ・道の駅を核とした観光振興
- ・様々な手段を用いたプロモーションの推進
- ・公共交通の利用促進
- ・定住の促進・生活環境の向上 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚・出産・子育てのための環境整備や多面的な支援、子育てと仕事を両立しやすい環境整備を進める。また、交流事業などの充実により、子育て中の親の孤立化を防止する事業。

【具体的な事業】

- ・子育て世代への包括的な支援
- ・多様なビジネスモデルの展開
- ・定住施策と一体となった雇用・就労の促進 等

エ ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する事業

「しごと」と「ひと」が好循環する仕組みを支える「まち」づくりを
実践し、町民が安心して満足度の高い暮らしが送れる地域運営を進め、
持続可能な魅力ある地域社会の形成を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・教育環境の充実
- ・二次交通の拡充
- ・自主防災組織の活性化、防災意識の向上
- ・電子自治体の推進 等

※なお、詳細は鋸南町地方創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

50,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果検証を行い翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで